

年間指導計画														
教科		科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等								
国語		現代の国語	1	2	中塚・内田	精選現代の国語（第一学習社）								
教科 の 目 標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】								
	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。			言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。								
科目 の 目 標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】								
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
単元の具体的な指導目標			指導項目・内容（教材等）			領域		評価基準		知	思	態	配 当 時 数	
						話	聞	読						
1 学 期	物事の捉え方		〈内容〉 『「本当の自分」幻想』 『論理分析【対比】』 『話し方の工夫』 教材：教科書 その他：一人一台端末の活用 漢字小テスト			〇	〇	〇	【知識・技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。また、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解し使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとするともに、反論を示したり、積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して書いたり話したりしようとしている。	〇	〇	〇	11	
	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。また、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用できる。話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解し使っている。													
	【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握													
	【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとするともに、反論を示したり、積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して書いたり話したりしようすることができる。													
定期考査										〇	〇		1	
	人間と文化・言葉と情報		〈内容〉 『水の東西』 『ものとことば』 『待遇表現』 『生活の中の表現』 教材：教科書 その他：一人一台端末の活用 漢字小テスト			〇	〇	〇	【知識・技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。また、常用漢字の読みに慣れ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを理解する。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとするともに、異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、課題に沿ってまとめようとしている。	〇	〇	〇	11	
	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解できる。また、常用漢字の読みに慣れ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを理解する。													
	【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。													
	【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとするともに、異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、課題に沿ってまとめようとしている。													
定期考査										〇	〇		1	
2 学 期	科学と人間		〈内容〉 『現代の「世論調査」』 『生と死が創るもの』 『論理分析』 『書き方の基礎レッスン』 教材：教科書 その他：一人一台端末の活用 漢字小テスト			〇	〇	〇	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解できる。また、常用漢字の読みに慣れ、比喩、例示、言い換えなどの修辭について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとするともに、帰納法で推論する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとしている。	〇	〇	〇	15	
	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。また、常用漢字の読みに慣れ、比喩、例示、言い換えなどの修辭について理解を深める。													
	【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。													
	【学びに向かう力、人間性等】 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとするともに、帰納法で推論する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとする。													
定期考査										〇	〇		1	
	社会と人間		〈内容〉 『フェアな競争』 『ロビンソンの人間と自然』 『情報の探索と選択』 『生活の中の表現』 教材：教科書 その他：一人一台端末の活用 漢字小テスト			〇	〇	〇	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解するとともに、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。また、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫するとともに、目的や場に応じて様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文で示された哲学者の事績について内容との関わりがわかるようにまとめる。進んで情報探索の重要性を理解し、複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、まとめようとしている。	〇	〇	〇	11	
	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解するとともに、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。また、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用できる。													
	【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、情報を収集、整理し相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。													
	【学びに向かう力、人間性等】 本文で示された哲学者の事績について内容との関わりがわかるようにまとめる。進んで情報探索の重要性を理解し、複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、まとめようとしている。													
定期考査										〇	〇		1	
3 学 期	現代と社会		〈内容〉 『グローバル化の遠近感』 『論理分析』 『身近な製品の取扱説明書を作成する』 『スピーチで自分を伝える』 教材：教科書 その他：一人一台端末の活用 漢字小テスト			〇	〇	〇	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、言い換えなどの修辭について理解を深めるとともに、情報と情報との関係について理解している。また、漢字の総合的な力を養成し、話し言葉の特徴や役割、表現の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、情報を収集、整理し相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉えたうえで、書き手の意図に対する自分の考えをもち、表現を工夫してまとめるとともに、既習の評論と粘り強く読み比べ、共通点を説明しようすることができる。	〇	〇	〇	17	
	【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方、言い換えなどの修辭について理解を深めるとともに、情報と情報との関係について理解している。また、漢字の総合的な力を養成し、話し言葉の特徴や役割、表現の特徴を理解する。													
	【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫するとともに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、情報を収集、整理し相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。													
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉えたうえで、書き手の意図に対する自分の考えをもち、表現を工夫してまとめるとともに、既習の評論と粘り強く読み比べ、共通点を説明しようすることができる。													
定期考査										〇	〇		1	
合計														70

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）	評価基準	知	思	態	配当 時数
	〔近代化と私たち〕						
1	【知識及び技能】 ●18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易を基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解すること。 ●産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解すること。 ●18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 ●列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解すること。	18世紀の東アジア 結び付くアジア諸地域 18世紀のヨーロッパとアジア 産業革命のはじまり 世界市場の形成 東アジア国際関係の変化と日本の開国 世界経済の変化と日本の産業革命 市民革命と近代社会 自由主義とナショナリズム アジアの諸国家とその変容 明治維新と東アジアの国際関係 立憲制の広まり 帝国主義と植民地 日清戦争と華夷秩序の解体 帝国主義諸国の競合と国際関係 植民地支配と植民地の近代 20世紀はじめの世界	【知識及び技能】 ●18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易を基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ●産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 ●18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ●列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。				
学	【思考力、判断力、表現力等】 ●18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして多面的に考察し、表現している。 ●産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向相互に関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現すること。 ●国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現すること。 ●帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現すること。	教 材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 ●18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的に考察し、表現している。 ●産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ●国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現している。 ●帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		23
期	定期考査						2
2	〔国際秩序の変化や大衆化と私たち〕						
2	【知識及び技能】 ●第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解すること。 ●大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政治覚醒、大衆消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解すること。 ●世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解すること。	大衆社会の時代 第一次世界大戦の展開 国際協調体制の形成 ソビエト連邦の成立と社会主義 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 アジアの経済成長と移動する人々 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 民主主義の拡大と社会変革の動き マスメディアの発達と日常生活 世界恐慌 アジア・アフリカと大衆社会 国際協調体制の崩壊 日中戦争と深刻化する世界の危機	【知識及び技能】 ●第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ●大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政治覚醒、大衆消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ●世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。				
学	【思考力、判断力、表現力等】 ●第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現すること。 ●第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現すること。 ●経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現すること。	教 材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 ●第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ●第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 ●経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		23
期	定期考査						2
3	〔国際秩序の変化や大衆化と私たち〕 続き						
3	【知識及び技能】 ●第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解すること。	国際協調体制の崩壊 日中戦争と深刻化する世界の危機 第二次世界大戦の勃発 第二次世界大戦における連合国と戦後構想 アジア太平洋戦争と日本の敗戦	【知識及び技能】 ●第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。				
学	【思考力、判断力、表現力等】 ●第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。	教 材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 ●第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		19
期	定期考査						1
						合計	70

[illegible]

年間指導計画													
教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等								
数学	数学A	1	2	橋本・都筑・薦谷・河原・濱中	数研出版 高等学校数学A								
教科 の 目 標	【知識及び技能】 数学における基本的な知識を身に付けさせる。数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付けさせる。	【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用した論理的思考力、いくつかの事象を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現力を身に付けさせる。			【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する姿勢を身に付けさせる。								
科 目 の 目 標	【知識及び技能】 場合の数、確率、図形の性質、整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。	【思考力、判断力、表現力等】 場合の数、確率、図形の性質、整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付ける。			【学びに向かう力、人間性等】 場合の数、確率、図形の性質、整数の性質において理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）			評価基準	知	思	態	配当 時数				
学 期	場合の数と確率	1章 場合の数 1節 数え上げの原則 1 集合の要素の個数 2 数え上げの原則 2節 順列・組合せ 3 順列 4 組合せ 2章 確率 1節 確率とその基本的な性質 1 事象と確率 2 確率の基本的性質 2節 独立な試行と確率 3 独立な試行の確率 4 反復試行の確率 3節 条件付き確立 5 条件付き確率			【知識・技能】 順列・組合せの計算ができていくか。 確率の計算ができていくか。 【思考・判断・表現】 数千通り以上のパターンを計算によって求めることができるか。 Mのごとの起こりやすさ・起こりにくさについて確率を用いて考えることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物(問題集)を期限までに出しているか。 定期考査の復習をし、出来なかったところを理解しよう								
	【知識及び技能】 順列・組合せの計算ができる。 確率の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・組合せを用いて数千通り以上のパターンを理解する。 確率を用いて、物事の起こりやすさ・起こりにくさを理解する。					○	○	○	23				
	【学びに向かう力、人間性等】 上記のことを利用して、論理的に物事の可能性を理解する力をはぐくむ。												
	定期考査（中間考査・期末考査）					○	○	○					
学 期	図形の性質	4章 図形の性質 1節 三角形の性質 1 三角形の角の二等分線 2 三角形の外心・内心・重心 3 メネラウスの定理とチェバの定理 2節 円の性質 4 円周角の定理 5 円に内接する四角形 6 円と直線 7 方べきの定理 8 2つの円の位置関係			【知識・技能】 図形の性質を用いて、三角形の辺の長さや角度を求めることができるか。 【思考・判断・表現】 三角形の性質について、証明をすることができるか。 円の性質について証明をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物(問題集)を期限までに出しているか。 定期考査の復習をし、出来なかったところを理解しよう								
	【知識及び技能】 図形の性質を用いて、三角形の辺の長さや角度を求めることができる。 円の性質を用いて、円の半径や接線の長さなどを求める元ができる。					○	○	○	27				
	【思考力、判断力、表現力等】 三角形の性質について、証明をすることができる。 円の性質について証明をすることができる。												
	【学びに向かう力、人間性等】 上記のことを利用して、身の回りの物を計量することができる。												
学 期	定期考査（中間考査・期末考査）					○	○	○					
	数学と人間の活動	3章 数学と人間の活動 1節 倍数と約数 1 倍数と約数 2 素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 余りによる整数の分類 2節 ユークリッドの互除法 5 ユークリッドの互除法 6 2元1次不定方程式 3節 整数の性質の応用 7 有限小数と循環小数 8 n進法			【知識・技能】 約数・倍数・最大公約数・最小公倍数を求めることができるか。 1次不定方程式を解くことができるか。 有限小数・循環小数の計算ができていくか。 【思考・判断・表現】 素因数分解と、最大公約数・最小公倍数の関係を理解しているか。 1次不定方程式を利用して中国剰余の定理を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物(問題集)を期限までに出しているか。 定期考査の復習をし、出来なかったところを理解しよう								
	【知識及び技能】 約数・倍数・最大公約数・最小公倍数を求めることができる。 1次不定方程式を解くことができる。 有限小数・循環小数の計算ができる。					○	○	○	20				
	【思考力、判断力、表現力等】 素因数分解と、最大公約数・最小公倍数の関係を理解する。 1次不定方程式を利用して中国剰余の定理を理解する。												
	【学びに向かう力、人間性等】 1次不定方程式の応用がなぜ「中国剰余の定理」と命名されたのかを人間の活動の歴史を通して理解する。												
学 期	定期考査（学年末考査）					○	○						
						合計			70				

年間指導計画													
教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等								
理科	化学基礎	1	2	磯部・豊田	化学基礎 academia 実教出版								
教科 の 目 標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】								
	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	実験、観察などを行い、科学的に探究する力を養う。			自然の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
科 目 の 目 標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】								
	自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって実験、観察などを行い、得られた結果を分析、解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。								
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）			評価基準	知	思	感	配 当 時 数				
1 学 期	（単元名）化学と人間生活												
	【知識及び技能】化学と人間生活について、化学と物質を理解するとともに、それらの実験、観察などに関する技能を身に付けること。	・指導項目 化学の特徴、物質の分離精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態			【知識・技能】化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの実験、観察などに関する技能を身に付けている。								
	【思考力、判断力、表現力等】身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、得られた結果や与えられたデータを科学的に分析、考察して表現すること。	・教材等 教科書 一人1台端末の活用等			【思考・判断・表現】身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、得られた結果や与えられたデータを科学的に分析、考察して表現している。								
	【学びに向かう力、人間性等】化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしていること。				【主体的に学習に取り組む態度】化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11				
	（単元名）物質の構成												
	【知識及び技能】物質の構成について、物質の構成粒子・物質と化学結合を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けていること。	・指導項目 原子の構造、電子配置と周期表、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合、			【知識・技能】物質の構成について、物質の構成粒子・物質と化学結合を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。								
	【思考力、判断力、表現力等】物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、得られた結果や与えられたデータを科学的に分析し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・教材等 教科書 一人1台端末の活用等			【思考・判断・表現】物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、得られた結果や与えられたデータを科学的に分析し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。								
	【学びに向かう力、人間性等】物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしていること。				【主体的に学習に取り組む態度】物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11				
	定期考査					○	○		2				
2 学 期	（単元名）物質の変化												
	【知識及び技能】物質の変化とその利用についての観察、実験などを通して、物質量と化学反応式・化学反応・化学が拓く世界について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・指導項目 物質量、化学反応、酸塩基と中和、酸化と還元、化学が拓く世界			【知識・技能】物質の変化とその利用についての観察、実験などを通して、物質量と化学反応式・化学反応・化学が拓く世界について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。								
	【思考力、判断力、表現力等】物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、得られた結果や与えられたデータを分析、考察して物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・教材等 教科書 一人1台端末の活用等			【思考・判断・表現】物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、得られた結果や与えられたデータを分析、考察して物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。								
	【学びに向かう力、人間性等】物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしていること。				【主体的に学習に取り組む態度】物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	26				
	定期考査					○	○		2				
3	（単元名）物質の変化	（2学期の続き）				○	○	○	17				
学 期	定期考査					○	○		1				
						合計			70				

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容（教材等）	領域				評価基準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話	書					
1	【單元名】 Lesson 1 Proverbs Around the World Lesson 2 Iwago Mitsuaki Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space	Lesson 1 世界のことわざ （現在形・過去形・進行形・SV0） 留学生に紹介することわざについて話す Lesson 2 若光昭さんへのインタビュー （助動詞・受け身・助動詞+受け身） 図書室に飾る写真について話す Lesson 3 高校生が作ったサバ缶が宇宙食に （動名詞・不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法） 宇宙で食べたい日本の食べ物について話す					【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。				
	【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めることができる。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。								
	【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。								
学											
期											
	中間考査・期末考査										2
2	【單元名】 Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh Lesson 5 Endangered Languages Lesson 6 A Wheelchair Traveler	Lesson 4 「クマのプーさん」に込められたメッセージ （現在完了形・現在完了進行形・過去完了形） 留学生に紹介する日本の物語について話す Lesson 5 消滅の危機にある世界の言語 （関係代名詞の主格・目的格、what・It is...to不定詞） Lesson 6 車いすで世界一周した三代連也さんのブログ （現在分詞の形容詞的用法・過去分詞の形容詞的用法・分詞構文・強調構文） 旅行者に勧める日本の都市について話す Lesson 7 難民の子供たちのためのサッカーチーム （関係副詞Owhere, when, why / 比較級・最上級） 移住者に対してできるボランティア活動について話す					【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。				
	【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めることができる。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。								
	【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。								
学											
期											
	中間考査・期末考査										2
3	【單元名】 Lesson 7 The Fugees Lesson 8 Avatar Robots Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination Lesson 10 SDGs	Lesson 7 難民の子供たちのためのサッカーチーム（関係副詞・比較） Lesson 8 分身ロボットで広がる未来 （条件を表す節・仮定法過去・I wish～・as if～） 未来の技術や製品について話そう Lesson 9 角野美子さんとその想像力 （SV00, SVO+to不定詞, SVOC） 一人で暮らすこと・家族で暮らすことなどの利点について話そう Lesson 10 SDG s に関するプレゼンテーション プレゼンテーションをしよう					【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。				
	【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めることができる。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。								
	【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。								
学											
期											
	学年末考査										1
								合計			

年間授業計画 様式例														
高等学校 令和6年度（1学年用） 教科										外国語		科目 論理と表現 I		
教 科 :		外国語		科 目 :		論理と表現 I		単位数 :		2		単位		
対象学年組 :		第 1 学年		1 組 ~		6 組								
教科担当者 :		(1 組 : 鵜飼)		(2 組 : 田代)		(3 組 : 迎)		(4 組 : 田代)		(5 組 : 栗原)		(6 組 : 鵜飼)		
使用教科書 :		(FACTBOOK English Logic and Expression I)												
教科		外国語		の目標 :										
【知 識 及 び 技 能】				外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。										
【思考力、判断力、表現力等】				コミュニケーションを行う意目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを明確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。										
【学びに向かう力、人間性等】				外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。										
科目		論理と表現 I		の目標 :										
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】						
様々な文法事項を、時制や文脈に応じて適切に使い分けることができる。				多くの支援を活用しながら、自分のことや身の回りのことについて理解し、基本的な語を用いて表現することができる。				間違いを恐れず、他者と積極的にコミュニケーションをとることができる。						

3 学 期	E 単元 Part 5 平和・公正 【知識及び技能】 仮定法を場面に応じて適切に使い分けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 多くの支援を活用しながら、自分のことや身近な人のことについて、基本的な語を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことや身近な人のことについて、端末も利用し、ペアやグループと協力しながら積極的にコミュニケーションをとることができる。	指導項目 Unit 9 教育・学びの多様性（関係詞節とその他の節） Unit 10 外国人観光客（仮定法）	○	○	○	○	○	【知識・技能】仮定法を場面に応じて適切に使い分けている。 【思考・判断・表現】多くの支援を活用しながら、自分のことや身近な人のことについて、基本的な語を用いて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自分のことや身近な人のことについて、ペアやグループと協力しながら積極的にコミュニケーションをとっている。	○	○	○	14
	定期考査			○			○		○	○		1

年間指導計画

教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等						
保健体育	体育	1	2	持田・中馬・峯岸・有光・高田・渡邊							
教科 の 目 標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】						
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。			生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
科目 の 目 標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】						
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解する。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。			生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けてる。健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。						

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）	評価基準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	（単元名）陸上	50m走					
	【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、走り方の技術、体力の高め方、課題解決の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】短距離走に主体的に取り組み、ルールやを大切に。健康・安全に留意し、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。		【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、走り方の技術、体力の高め方、課題解決の方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】短距離走に主体的に取り組み、ルールやを大切にできる。健康・安全に留意し、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。	○	○	○	6
	（単元名）体操						
	【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、ラジオ体操の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを他者に伝え、運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて工夫した取り組みをする。 【学びに向かう力、人間性等】青総体操に主体的に取り組み、体操の動きを大切に確認しながら、仲間と互いに助け合い高めあう。		【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、ラジオ体操の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを他者に伝え、運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて工夫した取り組みが出来て 【学びに向かう力、人間性等】ラジオ体操に主体的に取り組み、体操の動きを大切に確認しながら、仲間と互いに助け合い高めあおうとする。	○	○	○	6
	（単元名）水泳	クロール 平泳ぎ スタート					
	【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、泳法の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法を理解する。自己に適した泳法の効率を高める泳ぎをする。		【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、泳法の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法を理解できる。自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。		【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】水泳に主体的に取り組み、ルールやマナーを大切に。健康・安全に留意し、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。		【学びに向かう力、人間性等】水泳に主体的に取り組み、ルールやマナーを大切に。健康・安全に留意し、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。				

年間指導計画													
教科		科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等							
保健体育		保健	1	1	高田 持田 中馬	現代高等保健体育（大修館）							
教科 の 目 標	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		【思考力、判断力、表現力等】 動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。			【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
科目 の 目 標	【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。			【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容（教材等）			評価基準		知	思	態	配 当 時 数		
1 学 期	（単元名） 現代社会と健康		健康の考え方と成り立ち 私たちの健康の姿 生活習慣病とその予防 がんの予防と治療 運動・食事・休養睡眠と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康			（単元名） 現代社会と健康		○	○		12		
	【知識及び技能】 現代社会と生活習慣にかかわる健康について理解する。					【知識及び技能】 現代社会と生活習慣にかかわる健康について理解ができています。							
	【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。					【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができています。							
	【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組む。					【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。							
	定期考査							○	○		1		
2 学 期	（単元名）		（1学期の続き）			（単元名） 現代社会と健康		○	○		14		
	【知識及び技能】 現代社会で注目されている感染症について、また精神にかかわる健康について理解する。		現代の感染症 感染症の予防 性感染症とエイズとその予防 欲求と適応機制 心身相関とストレス ストレスへの対処 ココロの健康と自己実現		【知識及び技能】 現代社会で注目されている感染症について、また精神にかかわる健康について理解している。								
	【思考力、判断力、表現力等】 現代と健康について、特に感染症と精神と健康についての課題を発見し、それに対する対策や解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。				【思考力、判断力、表現力等】 現代と健康について、特に感染症と精神と健康についての課題を発見し、それに対する対策や解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。								
	【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会をつくるための学習に主体的に取り組む。				【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会をつくるための学習に主体的に取り組もうとしている。								
	定期考査							○	○		1		
3 学 期	（単元名） 安全な社会生活		交通事故 応急手当 心肺蘇生			（単元名） 安全な社会生活		○	○		9		
	【知識及び技能】 安全な社会生活について理解する。 応急手当や心肺蘇生を適切に行う。					【知識及び技能】 安全な社会生活について理解する。 応急手当や心肺蘇生を適切に行うことができる。							
	【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。					【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。							
	【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりや適切な応急手当についての学習に主体的に取り組む。					【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりや適切な応急手当についての学習に主体的に取り組もうとしている。							
	定期考査							○	○		1		
								合計			35		

年間指導計画

教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等												
	芸術 音楽 I	1	2	井上 真理	音楽 I Tutti+（教育出版）												
教科 の 目 標	【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。		【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。			【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。											
科目 の 目 標	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。		【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。			【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。											
	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容（教材等）		表現		鑑賞	評価基準				知	思	態	配 当 時 数		
					歌	器	創										
1 学 期	（単元名） 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		●校歌 ●楽譜の読み書き														
					○			○					○	○	○	24	
2 学 期	（単元名） 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		●ギター ●音楽史														
										○		○			○	○	○
3 学 期	（単元名） 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		●鑑賞 ●ハンドベル														
										○		○			○	○	○
														合計		70	

年間指導計画									
教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等				
芸術	書道Ⅰ	1	2	野澤裕子	教育図書『書Ⅰ』				
教科 の 目 標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
科 目 の 目 標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
	書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技術を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。			主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）			評価基準	知	思	態	配 当 時 数
	（単元名）	硬筆・毛筆			【知識・技能・態度】書に関する知識の習得ができているか。授業内で行う筆記テストを中心に評価する。 【思考・判断・表現】単元ごとのポイントを押さえ理解し、自分の作品の中に表現しようと取り組む姿勢があるか。また表現できているか。 【主体的に取り組む態度】聞く、書く姿勢を中心に書への関心を持ち、授業に取り組んでいるか。欠席・遅刻の回数、忘れ物の有無。	○	○	○	18
1	書写から書道へ								
学	楷書・基本点画・漢字とかなの調和								
期	三大家の作品 「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」								
	定期考査								
	（単元名）	毛筆			【知識・技能・態度】書に関する知識の習得ができているか。授業内で行う筆記テストを中心に評価する。 【思考・判断・表現】単元ごとのポイントを押さえ理解し、自分の作品の中に表現しようと取り組む姿勢があるか。また表現できているか。 【主体的に取り組む態度】聞く、書く姿勢を中心に書への関心を持ち、授業に取り組んでいるか。欠席・遅刻の回数、忘れ物の有無。	○	○	○	22
2	行書 「蘭亭序」「風信帖」								
学	書体の変遷 篆書・隸書・草書・行書・楷書								
期	仮名の成立・基本用筆								
	定期考査								
	（単元名）	毛筆			【知識・技能・態度】書に関する知識の習得ができているか。授業内で行う筆記テストを中心に評価する。 【思考・判断・表現】単元ごとのポイントを押さえ理解し、自分の作品の中に表現しようと取り組む姿勢があるか。また表現できているか。 【主体的に取り組む態度】聞く、書く姿勢を中心に書への関心を持ち、授業に取り組んでいるか。欠席・遅刻の回数、忘れ物の有無。	○	○	○	12
3	いろはうた・連綿・変体仮名								
学	仮名『高野切第三種』								
期	篆刻・刻字								
	定期考査								
						合計			52

年間授業計画 新様式例													
高等学校				令和 6 年度（ 1 学年用）教科 芸術				科目 美術 I					
教 科： 芸術				科 目： 美術 I				単位数： 2		単位			
対象学年組：第 1 学年 1 組～				6 組									
教科担当者：（1.2組：梅田利信（3.4組：梅田利信（5.6組：梅田利信（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）													
使用教科書：（ 高校生の美術 美術 I 1 1 6 ー 日 文 美 1 ー 7 0 2 ）													
教科 芸術				の目標：									
【知 識 及 び 技 能】				素材の特性を知り基本的道具の使い方を生かした制作技能をみにつける									
【思考力、判断力、表現力等】				対象の観察を通し発見した特性を生かし発展させ表現する力を身に着ける									
【学びに向かう力、人間性等】				作品制作を通し 美術の面白さを認識し自分と向き合い自己を高める力を身に着ける									
科目 美術 I				の目標：									
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】					
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている ・創造的な美術の制作をするために必要な技能を身に着け意図に応じて制作方法を創意工夫し表している				・造形的な美しさ表現の意図と創意工夫について考え発想や構想を練り美術の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めている				・作品制作を通し 美術の伝統と文化に豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている					

年間指導計画											
教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等						
情報	情報Ⅰ	1年次	2	小林 直貴	情報Ⅰ（日本文教出版）						
教科の目標	【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。		【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。							
科目の目標	【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。		【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。							
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）		評価基準		知	思	態	配当 時数		
1学期	情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報社会の現状や、特性、モラルなどについて知識を身に付け、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会について理解し、情報社会で情報を活用する力について考える。 情報社会の未来について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1.情報社会と情報 2.情報の特性 3.情報のモラルと個人に及ぼす影響 4.知的財産 5.情報の利用と公開 6.個人情報の保護と管理 7.社会の中の情報システム 8.情報技術と課題解決		【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 情報社会の未来について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況					8		
	コンピュータ 【知識及び技能】 コンピュータの構成と動作の仕組み、2進数と情報省の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの演算の仕組みや、数値・文字をデジタル化できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1.コンピュータの構成と動作 2.ソフトウェアとインタフェース 3.アナログとデジタル 4.2進数と情報量 5.演算の仕組み 6.数値と文字の表現 7.数値の計算 8.音声の表現 9.静止画と動画の表現 10.情報のデータ量		【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況					16		
	定期考査								1		
	情報通信ネットワークとセキュリティ 【知識及び技能】 メディアに関する知識と、インターネットを活用したコミュニケーション、情報のデザインについて理解する。 Webページを作成できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1.ネットワークの構成 2.情報通信の取り決め 3.Webページとメールの仕組み 4.転送速度とデータ圧縮 5.脅威に対する安全対策 6.情報セキュリティの確保 7.安全のための情報技術		【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況					16		
2学期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアに関する知識と、インターネットを活用したコミュニケーション、情報のデザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法をについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 単元内容について小テストに対する取り組み姿勢を養う。	1.メディアの発達 2.メディアの特性 3.コミュニケーションの形態 4.インターネットのコミュニケーション 5.社会の中の情報デザイン 6.情報デザインの工夫 7.文書の作成		【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況					10		
	定期考査								1		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	8章 青年期・家族 5章 子どもの保育 6章 高齢期の生活 【知識及び技能】 「生涯の生活設計」「青年期の自立と家族・家庭」「子供の生活と保育」「高齢期の生活と福祉」「共生社会と福祉」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して、内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 「生涯の生活設計」「青年期の自立と家族・家庭」「子供の生活と保育」「高齢期の生活と福祉」「共生社会と福祉」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「生涯の生活設計」「青年期の自立と家族・家庭」「子供の生活と保育」「高齢期の生活と福祉」「共生社会と福祉」等の分野について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ライフステージの特徴と課題 ・現代の家族・家庭の変化 ・職業労働と家事労働、ワークライフバランス ・家族に関する法律や社会制度 ・子どもの心身の発達 ・子どもの発達における遊びの役割 ・子どもの生活（生活習慣、健康管理） ・現代の子どもを取り巻く環境 ・高齢者の心身の特徴 ・介護保険、地域の役割 ・高齢者の生活支援 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 「生涯の生活設計」「青年期の自立と家族・家庭」「子供の生活と保育」「高齢期の生活と福祉」「共生社会と福祉」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【思考・判断・表現】 「生涯の生活設計」「青年期の自立と家族・家庭」「子供の生活と保育」「高齢期の生活と福祉」「共生社会と福祉」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「生涯の生活設計」「青年期の自立と家族・家庭」「子供の生活と保育」「高齢期の生活と福祉」「共生社会と福祉」等の分野について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	14
	1章 消費生活・環境 【知識及び技能】 「生活における経済の計画」「消費行動と意思決定」「持続可能なライフスタイルの環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 「生活における経済の計画」「消費行動と意思決定」「持続可能なライフスタイルの環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「生活における経済の計画」「消費行動と意思決定」「持続可能なライフスタイルの環境」等の分野について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・持続可能な生活 ・SDGs ・18歳成人 ・悪質商法、消費者トラブル ・契約の仕組み ・契約における意思決定のプロセス ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 「生活における経済の計画」「消費行動と意思決定」「持続可能なライフスタイルの環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「生活における経済の計画」「消費行動と意思決定」「持続可能なライフスタイルの環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「生活における経済の計画」「消費行動と意思決定」「持続可能なライフスタイルの環境」等の分野について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○ ○ ○	1		
2 学 期	2章 衣生活 4章 住生活 【知識及び技能】 「衣生活と健康」「住生活と住環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「衣生活と健康」「住生活と住環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「衣生活と健康」「住生活と住環境」等の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・被服の機能と素材 ・被服の選択と管理について ・被服実習（縫製技術の習得） ・住まいの主な機能 ・快適な住環境 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 「衣生活と健康」「住生活と住環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「衣生活と健康」「住生活と住環境」等の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「衣生活と健康」「住生活と住環境」等の、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	10
	3章 食生活 【知識及び技能】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・栄養素の特徴 ・食事バランスガイド ・調理実習（調理技術の習得） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	16
	定期考査			○ ○ ○	1		
3 学 期	3章 食生活 【知識及び技能】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・栄養素の特徴 ・食事バランスガイド ・調理実習（調理技術の習得） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して内容の理解を深めるとともに、基礎的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 「食生活と健康」の分野について、生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的な学習活動を通して工夫・考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	1
	定期考査			○ ○ ○	1		
	合計						

年間指導計画									
教科	科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等				
農業	自然と農業	1	2	浅見 市石 代田 大島 渡邊 玉森	農業と環境				
教科の目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】					
	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。		職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の進行や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
科目の目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】					
	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。	自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容（教材等）		評価基準		知	思	態	配当 時数
1学期	（夏野菜と草花の管理）	・ 野菜と草花の播種 ・ 茶について ・ 野菜と草花の管理 ・ 植物バイオテクノロジー ・ 野菜の収穫							
	【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解する。関連する知識・技術を身に付ける。			【知識・技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解している。関連する知識・技術を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力等】 自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。			【思考・判断・表現】 自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。					
	【学びに向かう力、人間性等】 自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			【主体的に学習に取り組む態度】 自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		○	○	○	24
	定期考査					○	○		1
2学期	（秋野菜と草花の管理）	・ 野菜と草花の播種 ・ 植物の繁殖 ・ 漬物について ・ お茶について ・ フラワーデザイン ・ 野菜の収穫							
	【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解する。関連する知識・技術を身に付ける。			【知識・技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解している。関連する知識・技術を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力等】 自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。			【思考・判断・表現】 自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。					
	【学びに向かう力、人間性等】 自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			【主体的に学習に取り組む態度】 自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。					24
	定期考査					○	○		1
3学期	（草花・食品・木材の活用）	・ 土の分析 ・ 木工 ・ ブルーベリージャムの製造 ・ フラワーデザイン ・ 花壇の作成							
	【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解する。関連する知識・技術を身に付ける。			【知識・技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解している。関連する知識・技術を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力等】 自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。			【思考・判断・表現】 自然と農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。					
	【学びに向かう力、人間性等】 自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			【主体的に学習に取り組む態度】 自然と農業について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。					19
	定期考査					○	○		1
						合計			70

年間指導計画											
教科		科目	対象年次	単位数	科目担当者	使用教科書等					
総合		産業社会と人間	1	2	内田・中塚・田代・野口・高田・林田・荒上・村上・佐藤・笠原・高田・堀田隆	産業社会と人間					
教科 の 目 標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
	社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観・職業観を身に着けるようにする。		我が国の産業と発展とそれがもたらした社会の変化について探求する力を養う。また、自己の将来の生き方や進路について考察し、各教科・科目の履修計画をする力を養う。			産業社会における自己のあり方生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。					
科 目 の 目 標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
	自分たちが生きるこれからの社会にどのような問題があり、その課題に対してどのような姿勢で臨むのか考えることができる。自分の個性、適正や興味関心に近い職業は何か、その職業に就くにはどのような資格や能力が必要で、どのような進路を選択する必要があるのか、そして高等学校ではどのような学習をすればいいのか考えることができる。		履修計画作成によって主体的に取り組む意思を形成している。他者や自分以外の世界を知り、考えたことを自ら表現することを通して、様々な価値を自分の中に作り上げていくことができる。			自己について考え、意欲的な学習の主体となる事故を認識しようとしている。					
単元の具体的な指導目標				指導項目・内容（教材等）		評価基準		知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	(単元名) 自己を知り、適正に基づいた進路選択方法と履修について学ぶ。		・職業適性、学問適性、パーソナリティーを客観的データをもとに測定する検査（返却は5月） ・総合学科オリエンテーション①（「産業社会と人間」について理解する） ・F C班提示、部屋割り決め、しおり作成、読み合わせし、意識を向上する ・8人のモデルの時間割を作成し、クラス内班別発表会后、代表者全体発表をする。			【知識・技能】 ワークシート・レポート・発表		○	○	○	26
	【知識及び技能】 ・自己の職業適性、学問適正を知る。 ・履修の仕組みを知る。		・資料を用いて学問分野・職業分野調べを行う（R-CAP返却） ・受験科目、資格等の調査をし進路選択について考える			【思考・判断・表現】 ワークシート・レポート・発表					
	【思考力、判断力、表現力等】 ・他者に対して適切な表現ができる。 ・マインドマップを通して考えを整理し、掘り下げることができる。		・働く人のお話しを読む ・マインドマップの手法を知り、自己の考えを掘り下げる			【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・レポート・発表					
	【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と積極的にかかわり、相互理解を深めようとする。 ・活動に能動的に取り組むことができる。										
2 学 期	(単元名) 将来を見据えた時間割を作成する。		・大学、専門学校等の担当者による説明会を聞き、学問分野について知る ・マインドマップの使い方を学びテーマに沿って実践することにより自己理解を深めていく ・教務部による履修のガイダンスを聞き、次年度の自分の時間割の仮計画を立てる ・進路部による、受験科目ガイダンスを聞き、受験科目、資格等の調査をすることで自分が必要な受験科目を見極める ・ベネッセによる学力テストの分析講話 ・自己の将来を考え、言語化するライフプランを作成する。将来の課題を探し、自己の在り方、生き方について考える			【知識・技能】 ワークシート・レポート・発表		○	○	○	24
	【知識及び技能】 ・情報の活用方法を学び、実際に活用することができる。 ・進路を踏まえた時間割作成ができる。					【思考・判断・表現】 ワークシート・レポート・発表					
	【思考力、判断力、表現力等】 ・社会のためにできることを考え、発信することができる。					【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・レポート・発表					
	【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と積極的にかかわり、相互理解を深めようとする。 ・活動に能動的に取り組むことができる。										
3 学 期	(単元名) ライフプラン作成		・マインドマップの使い方を学びテーマに沿って実践することにより自己理解を深めていく ・自己の将来を考え、言語化するライフプランを作成する。将来の課題を探し、自己の在り方、生き方について考える ・「ライフプラン」クラス内発表を行い、各クラスの代表者を選出する ・「ライフプラン」代表者発表会を行う ・様々な国の文化を知る ・農業関係の講演を聞き農業の広がりと他職種との連携を知るとともに農業の重要性について知る			【知識・技能】 ワークシート・レポート・発表		○	○	○	14
	【知識及び技能】 ・適正と希望に合った人生を送るために必要な事項を学ぶ。					【思考・判断・表現】 ワークシート・レポート・発表					
	【思考力、判断力、表現力等】 ・人生設計について発表、拝聴することで、表現方法を他者の人生観を学ぶ。					【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・レポート・発表					
	【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と積極的にかかわり、相互理解を深めようとする。 ・活動に能動的に取り組むことができる。										
								合計		64	